

東南アジア（シンガポール・マレーシア）出張概要

東南アジア地域の観光市場としての期待が急速に高まる中、関西広域連合として関西観光をアピールするため、平成25年2月17日(日)から20日(水)まで、シンガポール及びマレーシアにおいて関西経済界と連携してプロモーションを展開していますが、1日目の2月17日(日)の実施結果につきまして、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 実施日 平成25年2月17日(日)～20日(水)
- 2 主な参加者 山田 啓二 関西広域連合広域観光・文化振興担当委員(京都府知事)〈団長〉
秋山 喜久 関西広域連合協議会会長
春田 謙 新関西国際空港株式会社代表取締役副社長

3 概 要

<2月17日(日)>

(1) 関西国際空港出発

(2) 交流レセプション 19:30～21:00

○会場 ザ・リージェント シンガポール3階

○概要

交流レセプションに先立ち、リム・フン・キャン貿易・産業大臣やライオネル・ヨー観光庁長官等政財界要人と面談。関西とシンガポールのツーリズム及び産業の交流促進に向け意見交換を実施した。

続いて、シンガポールの日系企業関係者や、国のビジット・ジャパン大使等観光関係者との交流会を実施。山田団長から「関西の売り込みのため、両国の交流の最前線で活躍する皆さんの力をお貸してください。」とあいさつ。参加者からは「関西を面的に捉えてアピールしてもらいたい。」「シンガポールの人は関西の伝統やグルメに関心が高いので、それらの魅力をしっかり伝え、関西ひいては日本の振興につなげてもらいたい。」などの意見が寄せられた。



(画像) ビジット・ジャパン大使をはじめ現地関係者と意見交換(ザ・リージェント)

<2月18日(月)>

(1) 意見交換会 12:00~13:30

○会場 「ギョウター」(シンガポール中心街)

○概要 リュー・タク・ヨー運輸大臣、ゴー・チュン・ポン シンガポール航空 CEO、リョウ・ムン・レン キャピタランド CEO など現地政財界要人と懇談を行い、関西とシンガポール相互の発展のために、今後、人流や物流などの経済交流を推進していくことを確認。

(2) 旅行社等訪問

○訪問先 シンガポール全国旅行業協会 (NATAS)、シンガポール航空営業部、プライムトラベル、アップルパッケージーズ

○概要 関西、日本への誘客拡大を図り、歴史・文化や恵まれた自然等をテーマとする広域観光ルート、KANSAI 国際観光 YEAR の取組など関西観光の魅力を積極的に訪問先へアピール。特に NATAS からは、シンガポールでは日本食の人気の非常に高いので、「KANSAI 国際観光 YEAR」はタイムリーな取組であるとの評価を得た。

<2月19日(火)>

(1) マレーシア旅行業協会 (MATTA) 訪問 10:00~11:00

○場所 マレーシア旅行業協会 (クアラルンプール)

○概要 マレーシア旅行業協会会長で世界イスラム観光協会会長でもあるモハマド・カーリド・ビン・ハールーン会長と面談。

・日本の伝統的な食事は訪日の大きな目的。訪日観光が好条件にある中で、1年を通じて関西の食文化とそれを体験できるイベントを発信する「KANSAI 国際観光 YEAR」はタイムリーな企画であり注目したい。

・また、イスラム教徒にとって訪問先でのハラール食は大きな課題であることから、環境整備に努めて欲しい。

・今後、観光・産業・ビジネス展開と緊密な関係を促進していきたい。

との発言があり、今後お互いに協力して交流を進めることを確認。

(2) 記者会見 11:00~11:45

○場所 マレーシア旅行業協会 (クアラルンプール)

○概要 MATTA 会長とともに臨んだ記者会見において

・関西には素晴らしい文化や自然、温泉、食があり、今後、イスラム圏からのアウトバウンドの発展が見込める。この点で、関西から最も近いイスラムの国であるマレーシアに大きく期待している。

・MATTA 会長は世界イスラム観光協会会長でもあるので、マレーシアのみならず世界のイスラム圏から関西への誘客が進むことを望む。

・関西-マレーシア間の航空便が今後とも拡充していくので、関空としてもマレーシアから多くの方々が国際観光 YEAR に来ていただきたい。

など、現地メディアに対し、関西の売込みなどを行った。

(3) マレーシア政府観光局訪問 14:10~15:20

○場 所 マレーシア政府観光局（プトラジャヤ）

○概 要 観光や環境・産業など様々な分野にわたって、意見交換を実施。ヤン・ベルホルマツト・デト副大臣から「日本には何回も行っており、日本が大好き。特に京都・鴨川を眺めるのが大好きで、観光産業とともに環境保全技術にも着目している。」との発言があった。観光をはじめとして産業技術など幅広い分野で交流を進めていくことを確認した。



(記者会見)



(観光副大臣訪問)